

自給自足×コミュニティで考える サステナブルな住み方

つなげよう、支えよう森里川海
アンバサダー
四角 大輔 氏

omusubi不動産
代表
殿塚 建吾 氏

2月27日 (土) 13:00~14:30 Zoom・Youtubeにてオンライン開催!!

いま、あらためて
自然と共生する持続可能な暮らしを
求める人が増えているように感じます。

ニュージーランドの湖畔で自給自足生活
を選択された四角さんと、

東京・千葉を拠点に、入居者とお米作り
をする不動産を営む殿塚さん。

サステナブルな住み方を始める1つの
キーワードは、コミュニティ。

お二人と一緒に、これからの住み方を
考えます！

こんな方、お待ちしております！

- ・サステナブルな生活をしたい
- ・住む家や場所を選びたい

日時 : 2021年2月27日 (土) 13:00~14:30
 主催 : 地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)、
 環境省
 参加費 : 無料
 開催方法 : zoom、Youtube
 定員 : 500名まで

申込方法 : GEOCのHPよりお申込みください
<http://www.geoc.jp/activity/domestic/2664911.html>

※お申し込みは2/2 (火) より開始予定です。



PROGRAM

Session 1：ご講演 四角 大輔 氏

ニュージーランドの湖畔の森でのサステナブルな自給自足ライフについて、その場所・家を選ばれたきっかけや工夫、実際の暮らしの様子や苦労をお聞きます！

Session 2：ご講演 殿塚 建吾 氏

omusubi不動産が提案する、「米作りなど自分ができることを自給し、足りないものは顔が見えている人とトレードする考え方」など、コミュニティ単位ではじめる住み方をお聞きます！

Session 3：パネルディスカッション

これからの住み方について、自分でできること、コミュニティでできることなど一緒に考えます。

Session 4：質問タイム

視聴者の皆様からの質問タイムです。

PROFILE

つなげよう、支えよう森里川海アンバサダー 四角 大輔 氏

ニュージーランドで森の生活を営む執筆家。
大量消費社会と距離を置き、行き過ぎた資本主義に依存しないインディペンデントな生き方を求め、原生林に囲まれた湖でサステナブルな自給自足ライフを送る。旅するように働くスタイルで、これまでに65ヶ国を訪れる。環境省、グリーンピース、Earth.Org、パワーシフト、ユナイテッドピープルなど複数のアンバサダーを兼任。著書に、『人生やらなくていいリスト』『自由であり続けるために20代で捨てるべき50のこと』『バックパッキング登山入門』『LOVELY GREEN NEW ZEALAND』等。新しい働き方と暮らし方を直伝するオンラインサロン〈LifestyleDesign.Camp〉を主宰。



自然農法で
リンゴを育てる



湖畔での執筆活動

稲刈りキャンプの様子



古くて味のある物件を再生



omusubi不動産 代表 宅地建物取引士 殿塚 建吾 氏

松戸市出身。中古マンションのリノベ会社、企業のCSRプランナーを経て、房総半島の古民家カフェ「ブラウンズフィールド」に居候し、自然な暮らしを学ぶ。震災後、地元・松戸に戻り、松戸駅前のまちづくりプロジェクト「MAD City」にて不動産事業の立ち上げをする。2014年4月に独立し、おこめをつくる不動産屋「omusubi不動産」を設立。築60年の社宅をリノベーションした「せんぱく工舎」など多くのシェアアトリエを運営。空き家をDIY可能物件として扱い管理戸数は日本一。2018年より松戸市、アルス・エレクトロニカとの共同で国際アートフェス「科学と芸術の丘」を開催。2020年4月より下北沢BONUS TRACKに参画し、2号店を出店。田んぼをきっかけにした入居者との暮らしづくりに取り組んでいる。